伊賀市社会事業協会 ..2011

2011年12月20日 第 23 号 発 行 者

社会福祉法人伊賀市社会事業協会 理事長 西 岡 時 〒518-0032 三重県伊賀市朝屋739番地の2 TEL:0595 - 21 - 5545 FAX:0595 - 23 - 6670

URL http://www.iga-sjk.or.jp/

社会福祉法人伊賀市社会事業協会 森 下

達

也

年が改まったとて、消えることはないのだ。鎮魂の祈りをこめ は特別のひびきを持つ。大切な人を失った方々の深い悲しみは よいお年を」と願うばかりである。 の瀬の挨拶語ではあるが、東日本大震災のことを思うと今年 「よいお年をお迎えください」と言い交わす時節になった。 新しい年がすべての人々に明るい光を注いでくれるよう

輩たちに、私たちは何と詫びたらよいのだろう。 たいところだが、現今の政治政局の混濁はあまりにもひどい 民族だから、欧州のどこかの国と違って近未来は大丈夫と信じ 原となったが、その日本を先輩たちは再生させた。そんな日本 る残りすくない一人でもある。三百万を超える人命を失い焼野 私は、この秋に傘寿を迎えた。あの大戦中の日本を知ってい 大戦中祖国の未来を信じて若い命を捧げた泉下の先

中から、 は、 び交った。 力頂きたい。私たちは充分理解力を持っている。 ほど、簡単な理屈である。それにしても政治家の皆さん、 揶揄するなどとんでもない。結果はすべて、主権者たる私たち て決定的な力を得る、それが議会制民主主義である。政治家を であろうが何であろうが、票さえ頂戴出来れば民意を得たとし の間接的侮辱かもしれないぞ。チルドレンであろうがガールズ フレーズで人をのせるより、 人ひとりの判断力や責任感が生み出している筈なのだ。 交った。発信源が誰かは知らないが、その巫山戯れひところチルドレンとかガールズとかいう言葉が、 政治家への呼称ではなく、本当は私たち主権者たる国民へ 当然ながら全く浮かばない。 国の運命を左右する人間として積み上げるべき見識 真摯で丁寧な説明をするようご怒 いや待てよ!あの言葉 たひびきの 日本を ワン

戦後のドイツを覆う政治不信と閉塞感の中で一体何が起こった

水域に達していることを想わずにはいられない。

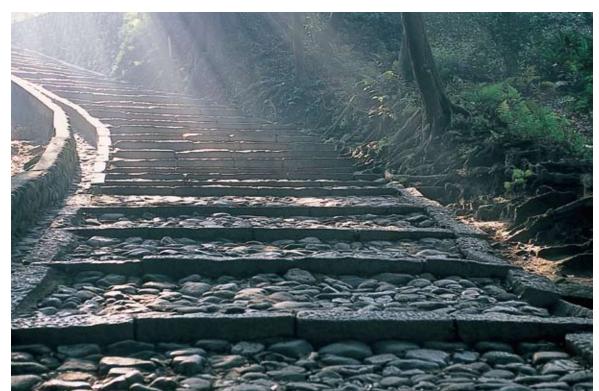
日本民族の資質と底力を信じつつも、

この国が不気味な危険

第一次世界大

たら粛々と働こう。どうかよいお年をお迎えください とまれかくまれ、歳末の放談はこのくらいにして、 もう一度振り返り静かに考えたいものである。 年が明け

(三重県社会福祉協議会会長



早朝の石段(伊賀市 上野公園)

昇写真集「風土記」より

"家族とともに 地域とともに 支え愛 「今、ありがとうを伝えよう」

11月3日(文化の日)、第11回往古梨まつりを開催しました。 「ありがとう」と感謝の気持ちを相手に伝えることで、 お互いがもっと幸せな気持ちになれるのではないかという 思いから、今年は「今、ありがとうを伝えよう」をサブテー マにかかげました。

感謝の絵付け体験

梨ノ木園



地元の伊賀焼窯元・大内窯様のご協力で、絵付け体験 を行ないました。ご利用者には、事前に「今、ありがと うを伝えよう」という今年のサブテーマをもとに、描き たいことを考えていただきました。当日は、ご家族やボ ランティアの方々、職員と一緒に、皆さんそれぞれの「あ りがとう」の気持ちを、一生懸命描かれていました。会 場は、晴れ晴れとした笑顔でいっぱいになりました。

日頃よりご協力、ご支援を頂いている、朝屋老人クラ ブと大野木ゆうゆうクラブの皆様をお招きして3B体操 を行ないました。福岡和代先生をはじめ、4人の先生方 のゆっくりかつリズミカルな話術で、楽しく、無理せず、 自分に合った運動を楽しみました。

"ベル"という8の字クッションを使用して、普段動 かすことの少ない身体の部分を叩いて心地よい刺激を与 えたり、二人組になって引っ張り合いをしました。参加



された皆様 から「身体 が軽くなっ たわ」「若 返ったで」 などの声が 聞かれ、表 情も柔らか くなり大変 盛り上がり ました。

3B体操~楽しく、無理せず、自分に合った運動を~ デイなしのき

午前の全体アトラクションには、伊賀琉真太鼓(代表: 木村弘士様)30名の皆様にご出演いただき、迫力ある太鼓 の音にのせ、息の合った踊りと満面の笑顔を届けていただ きました。また、ご来場者が演奏や踊りに参加していただ

くなど、会場はたいへん盛り 上がりました。

今年の往古梨まつりも、ボ ランティアや地域の皆様など 多くの方々にご協力を賜わり 盛会の内に終わらせていただ くことができました。心より お礼申し上げます。



ハーモニカの音色に魅せられて

第二梨ノ木園

に歌って 幸せ運 ぼう」を テーマに、 "ハーモニ カグルー プ ~ 風 ~"の皆 様をお迎 えして、



ハーモニカ演奏を聞かせていただきました。ハーモニカ のどこか懐かしく、心地よい音色と、見たことのない形 をしたハーモニカから奏でられる演奏に、ご利用者から は「昔を思い出すな」「僕も昔はハーモニカ好きやった んやしなどの声が聞かれ、懐かしさのあまり涙される方 もいらっしゃいました。そして、最後に「ふるさと」を 全員で合唱すると会場が一つになり、皆様との絆や繋が りを感じることができました。

講師にジョンソン珠江様をお迎えして「笑いヨガ」を 行ないました。笑いヨガは笑いの練習とヨガの呼吸法(腹 式呼吸)を合わせた健康法です。

初めは作り笑いでも良いと言われましたが、先生の笑 い声につられ、自然と笑い声が出てきました。笑いなが ら手を叩いたり、席を立ち色々な人と握手をしたりと、 多くの人とコミュニケーションをとることができました。

最後には会 場が笑いで

でしたが、 和やかな雰 囲気に包ま れました。



笑いで健康になろう

梨丘園

「うまく当たるかな」

けるか」 代表の選手宣誓で競技のスタート て充分に準備体操をした後、 行事を実施 しました。 は、午後のリハビリレクリエ 人おひとりが真剣そのものです。 懐かしいラジオ体操 ツの秋にちなんで、ミニ運動会を 老人デイサービスセンター 老人デイサービスセンター 紅白の鉢巻きをして、 時間、春夏秋冬の季節に合わせた 力強く的 くす玉割り とできるだけ沢山 しています。 白組 を目掛けて投げたり のき運 に勝 では の音楽に合 先日は、 ご利用者お てみ の玉を持っ 「赤組に負 ご利 なし ーーショ せる

用者

盲養護老人ホーム 梨ノ木園

迫力が感じられた『スポーツの秋』

梨ノ木園は、県下唯一の盲養護老人ホームで、視覚に 障がいをお持ちの高齢者が70名生活されています。視覚 障がいには、目が見えないだけではなく視力の低下や視



アイマスクをして食事体験 ています。

個別の支援方法習得のた め、梨ノ木園では年に数回、 擬似体験を行なっています。 アイマスクを付けて、食事を したり、施設内を歩行してい ます。体験後は感想を出し合 い、日常の支援に一つでも役 立てることができれば良いな と思っています。

野狭窄、色覚の異常 等も含まれます。私 たち職員はご利用者 のそれぞれの障がい の状態を把握し、ま た今までの苦労、不 自由さを理解した上



声を掛け合い歩行体験

太陽がくれた喫茶

特別養護老人ホーム 第二梨ノ木園

第二梨ノ木園では、毎月季節にあわせたおも てなしを用意して「ティールームつどい」を実 施し、気候の良い春と秋には屋上のウッドデッ キへ会場を移して催しています。ウッドデッキに 着くと、「わー、ええ天気やな」「暖かいなー」 などの声が上がり、屋上からの景色に「あの辺 りは私の家やわ」「上野城がよく見えるなー」 といった会話が弾みます。季節の和菓子を召し 上がりながら楽しいひとときを過ごしていただ いております。



伊賀盆地が見わたせる屋上のウッドデッキで

車中では、

初秋の景色を楽しみ

あっという間にホテ

ホテルの豪華なラ 時間を忘れて充

ゴヤキャッスルホテルと名古屋市

へ秋の旅行に出かけました。

いかの 楽し もっと 声が聞 上験した たよ った 日



名古屋市科学館で集合写真

はあっと 土産を買ったり、 や展示を見学しました。

帰りには御在所サービスエリ 喫茶をしたりと アで 利用)時間

せるコーナーや体の働きを詳しく学べ 分に食事を堪能しました。 名古屋市科学館では、 など、それぞれが興味 竜巻を再

ンチバイキングでは、 ルに到着しました。 ら会話もはずみ、

れ 渡る秋空の 下、 ウェスティンナ (D)

LI ぱ

思

第26回子どもフェスティバル

ひらいてみよう! 絵本のとびら

~ぼくも わたしも 主人公~

子どもたちの成長を保護者と共に喜び合い、併せ て地域の方々に保育園を理解していただきたいとの 思いで毎年開催している子どもフェスティバルは、 今年で26回目を迎えました。今年は11月5日"ゆめ ドームうえの"において、「ひらいてみよう!絵本 のとびら~ぼくも わたしも 主人公~」をテーマ に開催しました。

子どもたちの大好きな絵本は、子どもに生きてい る歓びを感じさせ、生きる力を与えると言われてい



親子で楽しむ大型絵本



かえるのお引越しゲームを楽しむ子どもたち

ます。身近にある色々な素材を使い子どもと職員が アイデアを出し合って作った絵本の世界で会場がい っぱいになりました。来場した子どもたちは楽しい あそびを体験し、発見や驚き、感動を味わったよう です。

絵本ボランティアの皆様の読み聞かせやお世話に なっている地域の方々に教えていただいた伝承あそ び、子どもと食事、子どもと保健、赤ちゃんひろば、 3・4・5歳児の絵画約1,000点の展示等、それぞ れのコーナーも多くの来場者で賑わいました。また 人形劇「アリとキリギリス」も好評でした。

2.800名余りの方々にご来場いただき、お弁当持 参で訪れた親子も多く、会場内は終日家族でゆった りと触れ合う姿で時が刻まれていきました。



熱心に討議される参加者の皆様

分科会におい 関育 り 思い ち 友 だ わ な 保 や の だ 視な関育者の などのりの の意欲 子ども 内

公開保育の参加者皆様の前で忍者体操をする子どもたち

迎えしましたが、 活動を見ていただきました。 九クラスの保育を公開しました。 各地から、総勢50余名の方々をおクラスの保育を公開しました。県当日は、0歳児から5歳児までの 午後からは全体会、 ドッジボールなど活き活きと活動 いつもと変わらない明るさでした。 砂あそび、 発達課題に添った年齢別の すべり台、 子どもたちは登園 追いかけつ

質の向上を目的に、当去る11月15日、当 めてきました。 議会主催の公開保育を実施しまし 当保育所の をテーマに諸準備を進 11 、三重県社会福祉当保育所で保育の 人ひとりが輝

今後は、 なる質の向上をめざして研鑽を積 公開保育の学びを基に、

になりました。 先生方の総合的なご指導に今後の保活発に繰り広げられました。 助言の 育の目標を見つけることが出 基本を大切にした丁寧な保育」 価していただき、 保育士養成校の先生からは、 職員にとって励み 来まし

ゆめが丘保育所

ഗ 0 向上をめざして

がみつき、必死に耐えた子どもたちは

怖

突然起こる大きな揺れにテーブルにし

かった」「いっぱい揺れてびっくりした」な

どと驚いていました。

いつ起こるかわからない

*"*そのとき、

防災啓発員から説明を受けた後、

番

三重県防災危機管理部防災対策室の

に起震車に乗せていただきました。

備えて、防災意識の向上を図り、これか

らも防災啓発に努めたいと思います。

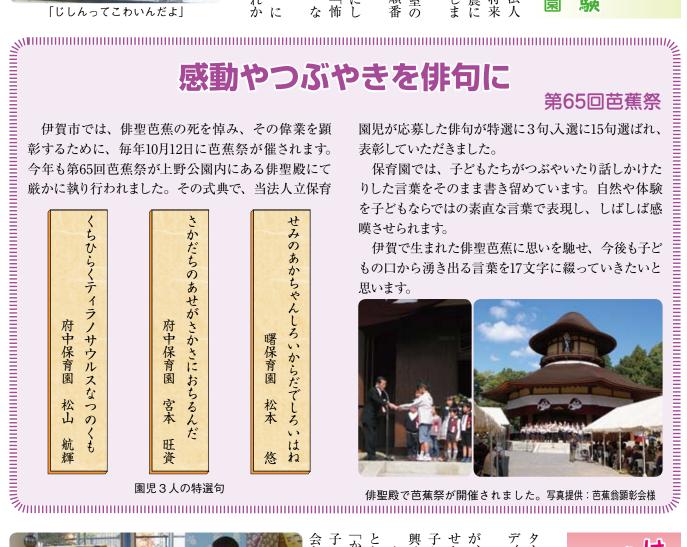


「じしんってこわいんだよ」

起こるかもしれない東海・東南海地震に 六園の園児や職員、 10 月 13 重県防災啓発 まなぶくん 起震車で地震の揺れを体験しま 月 11 月 11日の両日、 保護者が、 睦保育園 近い将来 7

子どもたちが介助犬を理解する良い機





会となりました。

「介助犬レディがんばって|

とりがレディを撫でて 「すべすべしてる_ 興味津々でした。 子どもたちは「すごい」「上手やな」 せたり、 かしこいなぁ」と声をかけていました。 デモンストレーションが始まり、レディ 10 介助犬との触れ合いタイムでは、一人ひ 車椅子に乗っている人の靴下を脱 月19日、 (メス二才)」がやってきました。 「シンシアの丘」から、 落とした鍵を拾ったりすると、 当園へ介助犬総合訓練セン 府中保育園 介助犬

はたらくワンちゃん 『介助犬』とのふれあい

スポーツ大会に参加しました

かしの木ひろば

10月22日、ゆめドームうえのにて「第6回伊賀市障が い者スポーツ大会」が開催され、かしの木ひろばのご 利用者も参加しました。会場は各施設や団体からの選 手やボランティアの方々で、とても盛り上がりました。

年に1回、この時にしか会えない友だちやボランティア の方々が、「元気にしているか」「今年も会えたな」とな

つかしそうに声を掛 け合っていました。

パン食い競争 や車イス魚釣りな ど「難しいな」と 言いながらも、張り 切って笑顔で競技 を楽しまれていまし た。体を動かす中 で、たくさんの方と 交流を持つことがで き、スポーツの秋を 満喫した一日となり ました。



「釣れた!釣れた!」

点字図書館の仕事について

上野点字図書館

10月28日、伊賀市立上野東小学校にて、「点字 図書館の仕事と役割について」の話をさせていただ きました。

はじめに、点字図書館を利用される視覚障がい者 について説明しました。弱視や視野狭窄など、様々 な見え方を映像で紹介したところ、児童からは「全 然見え方が違う」といった驚きの声があがりました。

その後、点字図書館の具体的な仕事についての話 をし、児童の皆さんはどのような手助けができるか を一緒に考えました。

これからも、視覚障がい者の方への関心を持って

いただけるよ う、このような 機会を大切にし ていきたいと思 います。



館長の説明を聞く4年生

過ごされたのち、 などもつとめ る わ 森下会長は昭 このたび当法 下達也 もつとめられ、中央へ出向かれる日々も多在は三重県社会福祉協議会会長や三重県社¢ のではない 知と思います たり社会福 小綬章を受けら 小綬章」の栄に浴されまし 同にとりましてもこの上ない喜びでございます 会長が かと思われま 和六年大連市でお 祉 人の森下達也会長 が、 日本に引き揚げられました。 られたの 充実に渾 秋 往時 の 叙 のご体質 身のご努力を続けられてきたご功績であり 今年は森下会長 で :験が弱者に対 生まれになり、 福祉新聞によれば全国福祉関係者の 旭 平 日 成二十三年秋の叙勲におきまし 員 辛酸の青春を送られたことは、、一年半をソ連軍の占領下で ただだお いのです。 会福祉施設経営者協議会会長 する確かな視線につなが 同 を受章され この偉業に恥じない 人のようです。 ご健康に留意され まし

楽しかった上野天神祭

つ

かしの木ひろば

10月24・25日、待ちに待った上野天神祭に 出かけました。菅原神社に参拝した後、「だんじ りをじつくり見たいな」「お店を回って祭りの雰囲 気を楽しみたいな」等のご希望があり、ボラン ティアの皆さんと一緒にだんじりや鬼行列を人 込みの中、かきわけるように追っていきました。

目的のお店を目指し「あっちのお店がおいし いよ」と情報交換をし合って、たこ焼きやわらび 餅を買って大満足されたようです。また、家族

におみやげをと、多くの 店を回ってベビーカステ ラを買って帰り、ご家族の 方々にとても喜んでいた だいたとお聞きしました。

年に一度の伝統の祭り を見学され、皆さんとて も幸せそうでした。



天神祭を楽しまれました

親和工務店、

西尾デンキ、人形のまるよし、

奥田理容店、

日蓮宗法音寺上野支院安立寺、田守神社、

桂地区、

治田地区、

予野地区、

怛風寮、今岡米穀店、上野ガス、上野清掃社、大内窯、小川整備、小川モータース

平井神社、グリーントピア名張 伊賀市上野仏教会、西蓮寺、

常住寺、

金谷、欣栄堂、甲野屋、JA伊賀北部古山ふれあい店、ジャクエツ 伊達商店、ナック、名張屋製麺所、鍋本商店、西尾石油店

福田豊工務店、マルソウ、

ゆめが丘地区民生委員児童委員、予野区里づくり委員会、印代地区、一之宮地区

花之木地区住民自治協議会、三重県サッカー協会、三田地区住民自治協議会、 長田地区市民センター、花之木社会福祉協議会、花之木地区委員会、 寺町自治会、寺町地区民生委員児童委員、寺町老人会、

東部地区老人クラブ連合会、中瀬老人クラブ連合会、長田地区住民自治協議会

城西地区民生委員、朝屋老人クラブ、寺田市民館、部落解放同盟寺田支部

伊賀市上野老人クラブ連合会、上野桑町自治会、上野徳居町老人クラブ

伊賀市上野視覚障害者福祉会

- 野福居町老人クラブ、上野東ロータリークラブ、

大野木ゆうゆうクラブ

伊賀白鳳高等学校、

伊賀市飲食業組合、

蕉門ホール「語り部塾」、ひよっ子育成クラブ、ボランティアグループあゆみ!

絵手紙いろは、 名張音訳グループこだま

絵本ボランティア「もこもこ」、

伊賀市更生保護女性の会、 名張点訳グループあかり、

ボランティアグルーブミックスジュース、長田小学校、あけぼの学園高等学校

岡波看護専門学校、伊賀上野ライオンズクラブ



お知らせひろは

和田イヨネ



△ご支援ご協

力

(平成23年8月~平成23年11月) ひただいている方々
▼

個

―敬称略・五十音順―

谷曽清本我水 岡森 不村都美子、 門口比登美 稻垣紀代子、 つや子 明彦 栄子 豊田 空森 岡森 田山紗知子、 清水みどり 葛岡エミ子、 門田かず子、

栄幸、 礼子、 泰造、 千里 靖子、 門田 今矢 塚本 内藤美袮子 竹内佐千子 石田裕美子 初子、 裕志、 智子、 進 杉本 木聖子、 洋子

角澤田田 冨澤 田中 北泉 奥田 真利文史 洋美 秀幸 昌彦 英夫 医子 房吉 美紀、

角田 上 田中美代子 奥田やえ子

《 団 体

野点訳奉仕グループあい、 -敬称略・順不同---上野音訳グループしのび

おせち料理 お正月は新年の神様である年神様が、家々に一年の実りと幸せをもたらすために山から

下りてくると考えられています。おせち料理 は年神様に供える料理であり、家族の幸せを 願う縁起物の料理でもあります。

数の子は子孫繁栄、田作りは五穀豊穣、 白なますは平和祈願など、それぞれの料理 や食材には意味があり願いが込められていま す。神様を家にお迎えしている間は炊事を控 えるという風習があるため、年末のうちに作 り置きするおせち料理には、日持ちのする食 材が多く使用されています。

近年は、元日からスーパーや飲食店が営業 していて不自由することはありません。一方、 凧揚げや羽根つきをする風景はほとんど見な くなりました。 失われつつある日本のお正月



編集子工

点訳・音訳ボランティア合同研修会

上野点字図書館

上野点字図書館では、日頃より点訳並びに音訳にご協力いただい ているボランティアの皆様の研修と親睦を兼ねて「ボランティア合 同研修会」を毎年実施しています。今回は、10月27日に津市にある 三重県立盲学校と伊勢市にある神宮徴古館・農業館、神宮美術館へ 行きました。

盲学校では校舎や宿舎を見学し、視覚障がい者についての講演を 聞かせていただきました。ボランティアの皆様からは、視覚障がい 者に係わる作業に携わりながら、知らなかったことが多く、とても 良い経験になったとのお声をいただきました。

その後、神宮徴古館・農業館、神宮美術館を見学しました。前館

長の堀川宗晴様のご案内の下、 遷宮の歴史や意義をはじめ、伊 勢神宮の歴史と文化について解 説していただきました。

このような研修を通し、視覚 障がい者へのより一層の理解を 深めるとともに、今後の活動の 参考にしていただければと思い ます。



神宮徴古館で記念撮影

铜矿

45

後

급근

ら子へおセッヤー ただききたいと思います。 ** とすを冷は到本格 あふれる良い年と 2012年が笑顔 どひかれませ ました。いよいよ 館の記念式典をさ なりますよう、 ようくれぐれ を増してきていま 冷えが一層厳しさ は、盆地特有の 到来となり、 ろあと僅かとなり ければ幸いです。 います。今後とも 職員一丸となり歩 見誤ることなく、 が、福祉の本質を の中ではあります く厳しい社会情勢 ります。混迷が続 ら感謝いたしてお 力のおかげと心か 日頃のご支援ご協 ひとえに皆様方の さやかながら執り からお祈りいたし ご自愛いただき、 本格的な冬将軍 解ご協力をいただ 皆様の温かいご理 んでいきたいと思 きました。これも 行なわせていただ 今年も残すとこ 皆様風邪 日 開園 当 な 底地

開

員

記

典

]に「梨ノ木園開園40周年、上野点去る11月3日、秋晴れの穏やかな

永年のボランティア活動に、

永年にわたりボランティア活動をつた、おのおのの施設に対しまして、こもったご祝辞を頂戴しました。ま 席上、内保博仁伊賀市長よりお心のなど多数のご臨席をいただきました。 域が、 字日図に 記念式典をささやかではあり づけていただいているお一人おひと 園 30 周 の方々や関 が手渡されました。 開催いたしました。 書館開館40周 「梨ノ木園開 西岡時彦理事長より「感謝 年、 梨丘園開園10周 係団 体 長よりお心の 第 法人関係者 式典には地 二梨ノ りました 冷年」の 米ノ木園



式典にご臨席いただいた皆様



理事長よりボランティアの方々に「感謝の盾」を贈呈



	当協会の施設	(定員)
1	盲養護老人ホーム 梨ノ木園	70人
2	特別養護老人ホーム 第二梨ノ木園	50人
3	老人ショートステイ	20人
4	老人デイサービスセンター なしのき	30人
5	在宅介護支援センター なしのき	
6	梨ノ木診療所	
7	曙保育園	180人
8	睦保育園	90人
9	三田保育園	60人
	中瀬城東保育園	115人
	友生保育園	90人
1	花之木保育園	45人
B	予野保育園	40人
<u>4</u>	長田保育園	45人
1	古山保育園	40人
1	みどり保育園	200人
	心身障害児療育施設 かしのみ園	
B	ひかり保育園	120人
19	みどり第二保育園	120人
20	府中保育園	90人
<u>a</u>	ゆめが丘保育所	200人
22	上野点字図書館	
23	伊賀市盲人ホーム	
24	障害福祉サービス事業 かしの木ひろば	
25	身体障害者支援施設 梨丘園	20人
20	児童クラブ フレンズうえの	
<u> 2</u>	児童クラブ キッズうえの	
<u>28</u>	児童クラブ 第2フレンズうえの	
29	児童クラブ オーロラ	
<u>30</u>	日中一時支援事業所ヴェルデ	
31	法人本部事務局	